

海外記者向けプレスツアー

G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合（令和5年4月15日（土）～16日（日））に先立ち、北海道が誇るアイヌ文化を世界に発信するため、海外記者向けプレスツアーを3月16日（木）に実施

海外記者向けプレスツアー

■参加者

アメリカ(2)、オーストラリア、スペイン、中国、トルコ、フィンランド、ベトナム(2)（7カ国計9名）

■ウポポイ視察内容（10:25～12:55）

○国立アイヌ民族博物館

- ・参加者は、博物館担当者に積極的に質問していた。

○ポロチセ（特別貸し切り対応）

- ・歌、語り、ムックリ演奏、踊りなどのアイヌ伝統芸能を披露
- ・参加者は、非常に興味深そうに写真、動画を撮影していたほか、演者に積極的にインタビューしていた。

参加者の声

ポロチセでの特別貸切対応に感謝。歌やムックリ演奏、踊りもとても良かった。

アイヌ語のナレーターやダンサーとの会話は、今回の訪問で一番だった。

素晴らしい写真が撮れるツアーは大歓迎だ。

ウポポイでのサステナビリティへの取組を今週にも報道する予定だ。

アイヌ民族博物館（文化、歴史等を取材）



ポロチセ（アイヌ伝統芸能を取材）



G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合の地元主催歓迎レセプション（4月14日（金））に際し、ブースを設置し、アイヌ文化、ウポポイを各国閣僚等に紹介。また、政府主催歓迎レセプションは4月15日（土）に実施。

札幌市（地元）主催歓迎レセプションブース

- 実施日：令和5年4月14日（金）
- 場 所：京王プラザホテル（2Fロースルーム）
- 概 要：レセプションの各国閣僚控室において、会場入場前の時間を活用し、アイヌ文化等を紹介
 - ・自然と共生するアイヌ文化の紹介（パネル・工芸品）
 - ・アイヌ民族衣装の展示・試着
 - ・ウポポイのPR（モニター、パンフ） など

※同会場では、ATWS紹介ブース、北海道・北東北縄文遺跡群、道内産日本酒試飲ブースなどが設置された。



アイヌ文化・ウポポイ紹介ブース

※ブースを来訪した各国閣僚にアイヌ文化を紹介し、アイヌ民族衣装を試着していただいた。



カナダ
スティーブン・ギルボア
環境・気候変動大臣



イギリス
テレーズ・コフィー
環境・食料・農村地域担当大臣



西村環境大臣

政府主催歓迎レセプション



政府主催歓迎レセプション（4/15）
においてアイヌ舞踊を披露

G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合に合わせ、各国政府関係者がウポポイを視察するエクスカーショを実施。
(4/14(金)に、カナダの環境・気候変動大臣及びアメリカ環境保護庁副長官がウポポイを来訪)

政府関係者向けエクスカーショ概要

■実施日：令和5年4月17日(月)

■参加者：16名

- ・カナダ、ドイツ(2)、フランス(5)、イギリス(5)、EU(1)
(4か国+EU 計14名)
- ・日本から(国定環境大臣政務官、地球環境局長)

■ウポポイ視察内容(14:30~16:30)

- ポロチセ(アイヌ財団常本理事長挨拶、説明)
 - ・歌、語り、ムックリ演奏、踊りなどのアイヌ伝統芸能を披露
- 国立アイヌ民族博物館(佐々木館長挨拶、説明)
 - ・アイヌのことば、歴史、暮らしなどの展示について説明

ポロチセでアイヌ伝統衣装を試着、記念撮影 アイヌ財団職員と意見交換



アイヌ民族博物館でアイヌのことば、歴史等を説明



4/14(金)カナダ環境・気候大臣及び アメリカ環境保護庁副長官がウポポイを来訪



カナダ
スティーブン・ギルボー
環境・気候変動大臣



アメリカ
ジャネット・マッケイブ
環境保護庁副長官

G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合に参加した各国大臣向けの記念品として、アイヌ伝統的工艺品を贈呈したほか、アイヌ文様を活用したおもてなしを実施。

札幌市（各国代表者）



ニ風谷アットゥシ
(ニ風谷民芸組合)

- ・オヒョウやシナの木の樹皮による反物
- ・2013年北海道で初めて経済産業省の「伝統的工艺品」の指定を受ける。
- ・アットゥシの手触りを感じてもらうため、表面にガラス等は入れず、フレームに直接はめ込む。

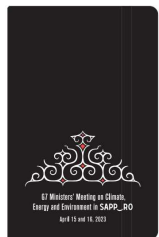
経産省、環境省（各国代表者）



ニ風谷イタ
(ニ風谷民芸組合)

- ・カツラやクルミの木などで作られる。
- ・2013年北海道で初めて経済産業省の「伝統的工艺品」の指定を受ける。
- ・渦巻きやウロコ文様などに代表されるアイヌ文様が表の面全体に彫り込まれている。

ウェルカムギフト（各国代表者及びプレス）



コンGRESSバッグ メモ帳 ステンレスボトル

【アイヌ文様について】
アイヌ文化を学ぶ札幌大学の学生が、札幌を象徴する山をイメージしデザインしたもの。
(令和2年度 札幌アイヌプロダクツ制作デザイン)

アイヌ文様を活用したおもてなし



- ・各国代表が会場入りした際に日本側大臣がお迎えするエリア（レシービングライン）の背景に、アイヌ文様を使用（令和2年度 札幌アイヌプロダクツ制作デザイン）